

基本目標	1	子育てしやすいまち
------	---	-----------

■目指す姿

多様な保育サービスの利用やコミュニティでの支え合いの中で、子育て世帯が不安なく希望の子どもの数を持ち、ゆとりをもって生活(子育て)している。

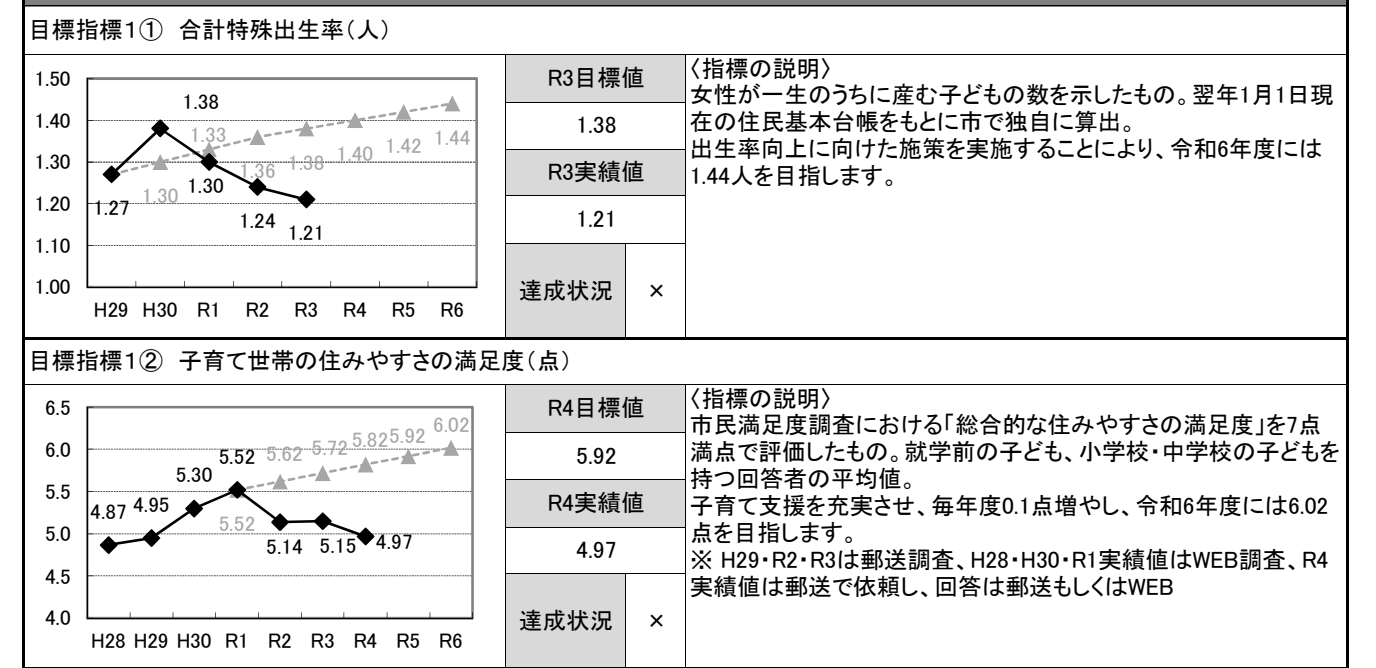
■数値目標

目標指標①	現状値(H29)	目標値(R6)
合計特殊出生率	1.27人	1.44人
目標指標②	現状値(R1)	目標値(R6)
子育て世帯の住みやすさの満足度	5.52点	6.02点

■施策体系



■数値目標のグラフ



■基本目標実現への効果等

令和4年度についても、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、新生児・乳児家庭訪問事業における現認や、ひろば事業等で大きく影響があったが、マタニティコンシェルジュをはじめ、妊娠期からの切れ目ないサポートを継続することで、子育て世帯がゆとりを持って子育てできる環境整備に取り組んだ。
 保育環境の整備においては、小規模保育所の誘致による定員の増加や保育コンシェルジュのサポート等により、令和5年4月1日時点の実質待機児童数が0名になった。また、全幼稚園において、従前の夏休みに加え、冬休み・春休みにおける預かり保育を開始するなど、多様化するニーズに対応している。
 一方で、指標である「合計特殊出生率」及び「子育て世帯の住みやすさの満足度」は、目標値に届いていない。出産・子育て等へのサポートを継続するだけでなく、労働環境や住環境など、生活全般に関わる環境整備が求められる。
 令和4年4月からの一般不妊治療の保険適用や子ども家庭庁の創設、国の少子化対策の大幅な拡充など、出産・子育て支援に関する社会的な変化が起こりつつある。こういった変化を捉えつつ、多様なニーズに対応し、子育て世帯が不安なく希望の子どもの数を持ち、ゆとりをもって生活(子育て)できるよう各課連携して、サポートする必要がある。

基本目標	2	働き盛り世代が希望の仕事ができるまち
------	---	--------------------

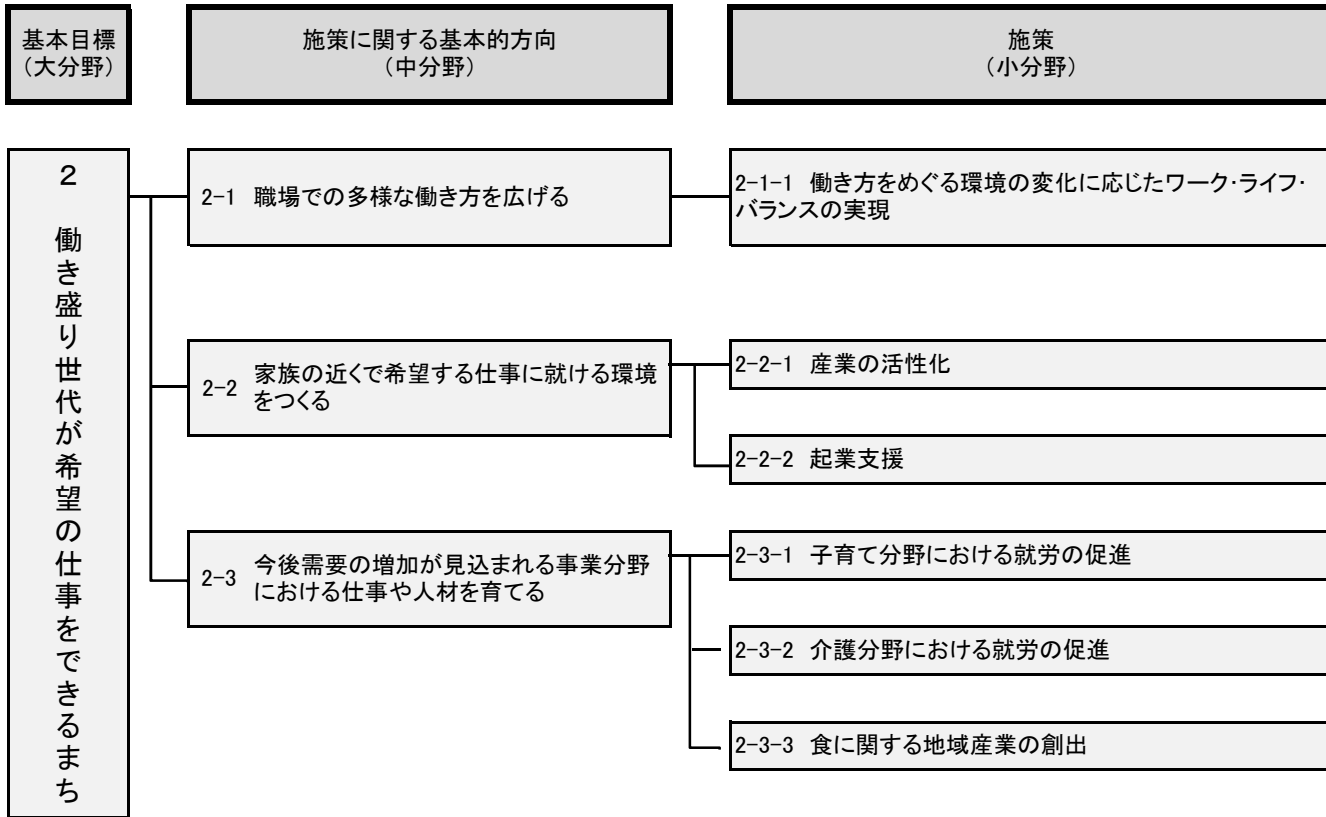
■目指す姿

ワーク・ライフ・バランスに関する取組が進み、働き盛り世代が多様な働き方を選択しているとともに、仕事を自ら起業するするなど家族の近くで希望の仕事ができている。

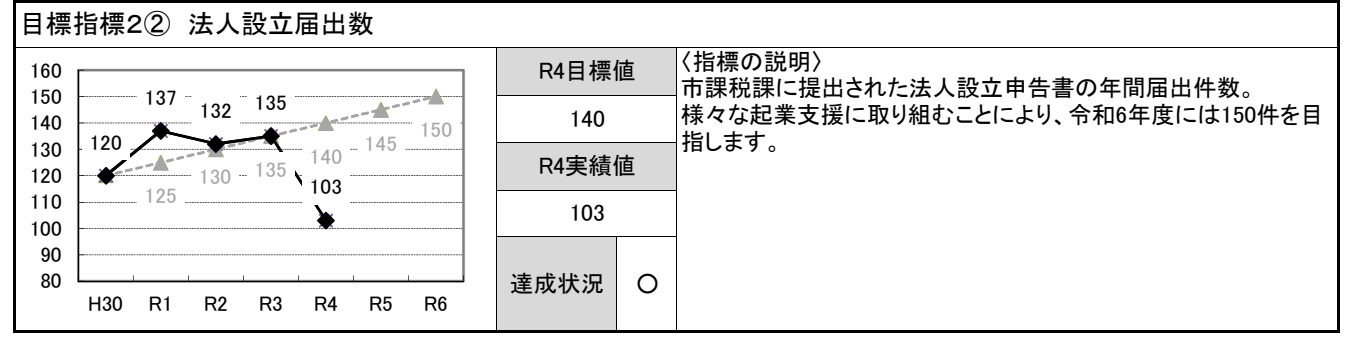
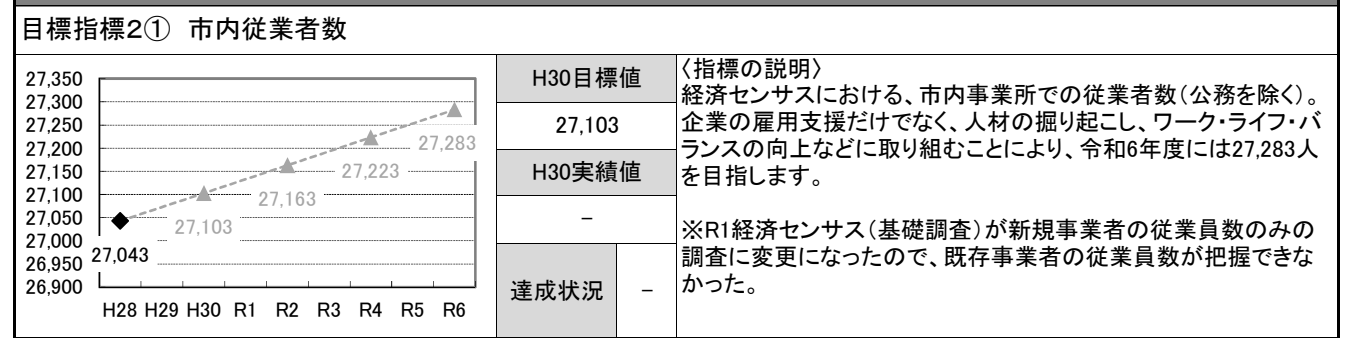
■数値目標

目標指標2①	現状値(H28)	目標値(R6)
市内従業者数	27,043人	27,283人
目標指標2②	現状値(H30)	目標値(R6)
法人設立届出数	120件	150件

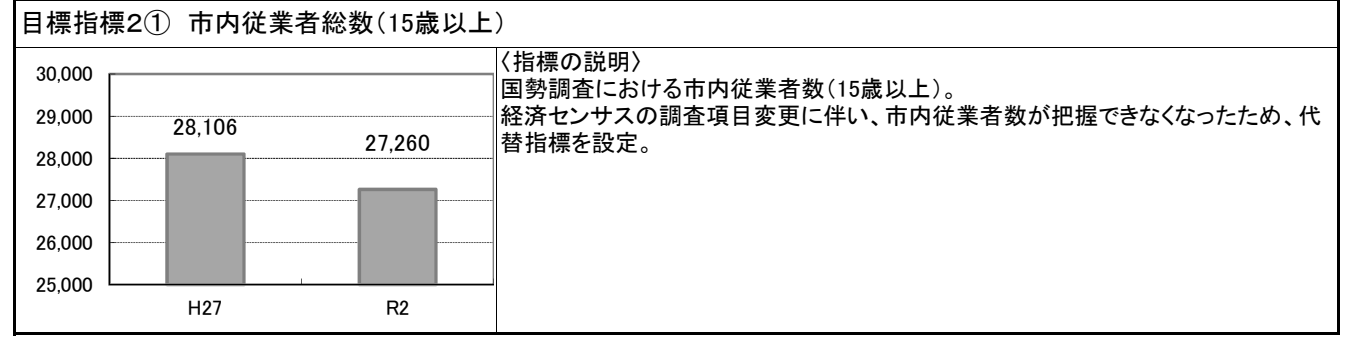
■施策体系



■数値目標のグラフ



■補助指標



■基本目標実現への効果等

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があったが、展示会や面接会といった企画等が徐々に再開されるなど、様々な取組を進めることができた。
就業意欲がある人の支援として、製造業や医療・福祉業界の人材不足にフォーカスした面接会を4回実施するなど、市内事業者の人手不足と就業意欲がある人のマッチングを支援した。また、より多くの方に参加いただけるよう、適宜開催方法も工夫した。
生駒市テレワーク&インキュベーションセンター「イコマド」は、令和4年度に指定管理者が変更になり、利用形態と利用環境の改善を行い、より利用しやすい環境を整えた。テレワークでの利用件数も高水準で推移しており、コロナ禍に対応したワークスタイルを推進した。各種イベントも開催することで、利用者同士の交流が深めることができた。起業支援においては、市外在住者を対象とした「IKOMA LOCAL BUSINESS HUB」、市内在住者を対象とした「いこま経営塾」を実施した。「IKOMA LOCAL BUSINESS HUB」では引き続き伴走支援等を行うとともに、令和3年度の卒業生が自身の経験等を受講生に講演する機会を設けるなど、参加者同士のつながりを作る取組を実施した。「いこま経営塾」においては、28名の参加があり、2名の新規創業及び第二創業につながった。また、ライフスタイルの選択肢を増やすセミナーやキャリアセミナーを実施し、農業への興味関心が高まっている状況を受けて、半農半X事業を実施するなど、多様な暮らし方働き方に向けて事業に取り組んだ。
今後も加速度的に変化する社会環境及び労働環境に対応し、働き盛り世代が多様な働き方を選択できるよう取組を進める。

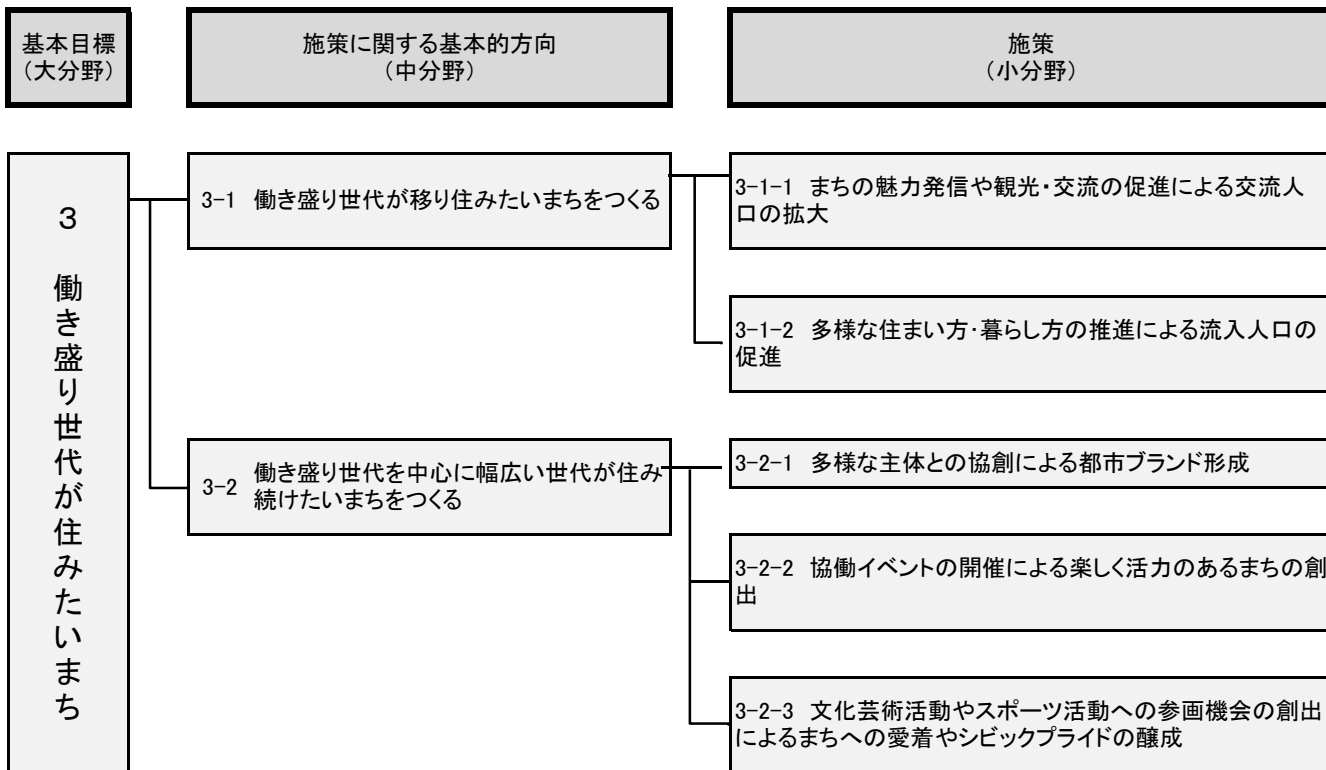
基本目標	3	働き盛り世代が住みたいまち
------	---	---------------

■目指す姿

多様な住まい方・暮らし方の推進により、働き盛り世代にとって魅力的なまちとして認知され、都市ブランドの形成と交流人口が拡大しているとともに、その魅力に惹かれて市外から働き盛り世代が新たに市に流入してきている。また、市内においても働き盛り世代を中心にシビックプライドが醸成され、定住促進が進んでいる。

■数値目標		
目標指標3①	現状値(H30)	目標値(R6)
働き盛り世代(25～34歳)の純移動数(転入－転出)	-212人	-143人
働き盛り世代(35～44歳)の純移動数(転入－転出)	+50人	+160人
目標指標3②	現状値(R1)	目標値(R6)
働き盛り世代の定住意向「ずっと住みたい」の割合(%)	45.5%	50.5%

■施策体系



■数値目標のグラフ

